

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年1月31日		～ 2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年1月31日		～ 2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境設定や体制の整備を、状況に応じて適切に行っています。 今後も児童の特性や人数に応じて、適切な体制と環境設定を整備していけるよう、より一層強化して参ります。	児童ごとの特性にあった配慮を行えるよう、必要に応じて利用スケジュールや環境設定を調整・相談しています。	人員の確保や児童の状況や特性に応じた環境設定を今後も継続していきます。
2	児童の特性や状況に応じて、適切な支援が提供できるよう、日々の会議や情報共有を行っています。 今後も継続していけるよう、定期的に支援会議等の機会を計画していきます。	個々の特性や得手・不得手にも、配慮した支援が提供できるよう、集団のみでなく個別での支援を行っています。	児童の状況や家族・本人の意向に応じて、必要な支援を検討・提供していきます。
3	地域の関係機関や多職種との横のつながりを大切にしており、自事業所のみではなく、地域全体の障害福祉サービスや教育関係の発展に努めています。	地域自立支援協議会への参加・運営 行政、教育、福祉関係機関の研修・イベントへの参加・運営 地域企業との連携やタイアップ	地域の課題やニーズを深く理解し、必要とされる取り組みを検討・実践していきます。 本質的に実施されるべき支援や配慮、療育を、自事業所のみでなく地域単位に広げていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家庭の状況や、保護者のお困り事などの把握・確認	能動的な相談事はなくとも、機会があれば相談する可能性はあると考えられる。	定期的に面談や相談の機会を提供する。 保護者会などで、ペアレントトレーニングの実施を検討する
2	事業所の運営に関する情報や取り組みの周知	主に契約時やHPへの記載で、基本的な情報の公開や説明は行っているが、複雑な部分や変更点などもあり、周知度や理解度は高くないと考えられる。	事業所運営における取組や重要事項の説明・変更点などを、定期的に通知する。 面談時やモニタリングの機会を利用して、重要事項や緊急時対応について、不明点などの確認を行う。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	まなびクラブ		公表日 2026年 3月 18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		規定水準の倍以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員に最大値の加算要件を超える配置がなされています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動に応じた導線、利用時の特性に応じた環境設定、バリアフリーなどが完備されています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		竣工されてから3年の教室で、定期点検や清掃も徹底しています。 室内外問わず、敷地内のスペースで安全に活動可能です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		同フロアに個別スペースを完備。 同一建物内には、複数の個別スペースを完備しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の申し送りと月に複数回実施の会議において、全スタッフの参加を徹底しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎年複数の研修参加事例があります。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関を含め、地域における複数の関係機関との連携体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今年度研修実績あり	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		個人情報や利用児童の背景に配慮し、不特定多数との交流は制限していますが、他施設との連携やコラボイベントを通じて交流の機会を創っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		個人情報や利用児童の背景に配慮するため、開所時の竣工式や定期イベント時に限定して招待を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時にすべてのマニュアルの説明と同意を行っています。 規定回数に応じた各研修・訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画・保険加入状況・安全装置を含めた取組みの周知を徹底しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			